



第一回お弁当の日でした

10月5日(月)は第一回お弁当の日でした。自分で考えたレシピをもとにお弁当を作ってみて何を感じてどう思いましたか。自分が普段何気なく食べているものには時間や手間がかかっていることを知った人がいるでしょう。いかに自分が食べるものを作るかを考え、学ぶ良い機会になったでしょうか。お弁当作りを振り返ってみて食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを持ちましょう。

作ってきたお弁当を食べている様子です。



作ってきたお弁当の一部をのせました。





お弁当を作った感想を各クラス一人ずつ紹介します。

1組

今まで私は自分だけではお弁当を作ったことがなかったけれど、野菜を洗ってから切ったり、魚の骨を取ってから汲み取り酒を振ってから衣をつけたり大変だったけど、また自分で作ってみようと思った。今まであまり手伝っていなかった揚げ物を作れるようになったし、油の適正温度の目安を母から教わり一つ知識が増えた。それから何より母のいつもの大変さに気付いた。

2組

私は、毎週、料理の中に玉ねぎが必ず出てきているけれど、玉ねぎを切ることがこんなにも大変だとは思いませんでした。これからはもっともっと感謝の気持ちをもってごはんをたべていきたいなと思いました。

あと、お弁当の色合いをよくすると「食べたいな」という気持ちがとても大きくなることがわかりました。のりやチーズなどでキャラクターが描かれていると、お弁当の時間がいつもよりも楽しいものとなりました。なので、次回何かを作るときには色合いや工夫をして、ほかの人にも食事の時間を楽しんでもらえるといいなと思いました。

3組

私がお弁当を作ってみて、気づいたことは、お母さんがいつもお弁当がいるときにお弁当をお母さんはいつも30分くらいで作っていたので簡単かなと思っていたけれど、実際やってみると、30分以上かかったし、明日はやくできるようにと夜作っていたけれど30分以上かかったので、やっぱりお母さんってすごいなと改めて感じました。

4組

朝、いつもより早起きで作っているときもすごく眠かったのが家族達がわざわざいつもより早く起きて作る大変さを知りました。私は料理の中で一番難しかったのはとうふハンバーグでした。切り干し大根の煮物とほうれんそうのごまあえは前日に作っておき、冷蔵庫に入れておいていました。でもハンバーグは朝から焼かないといけなかったのが大変でした。とくにひっくり返すのが難しかったです。次回は早めに行きやすいようにしていきたいです。